



# 新しい耐震デバイスの研究・開発

建築・都市システム学系 助教 林 和宏

## 研究概要

近年開発された革新的材料等を利用し、建物を地震から守る新しい耐震デバイスを開発しています。研究では、耐震性能評価のために大型の载荷実験装置を用います。

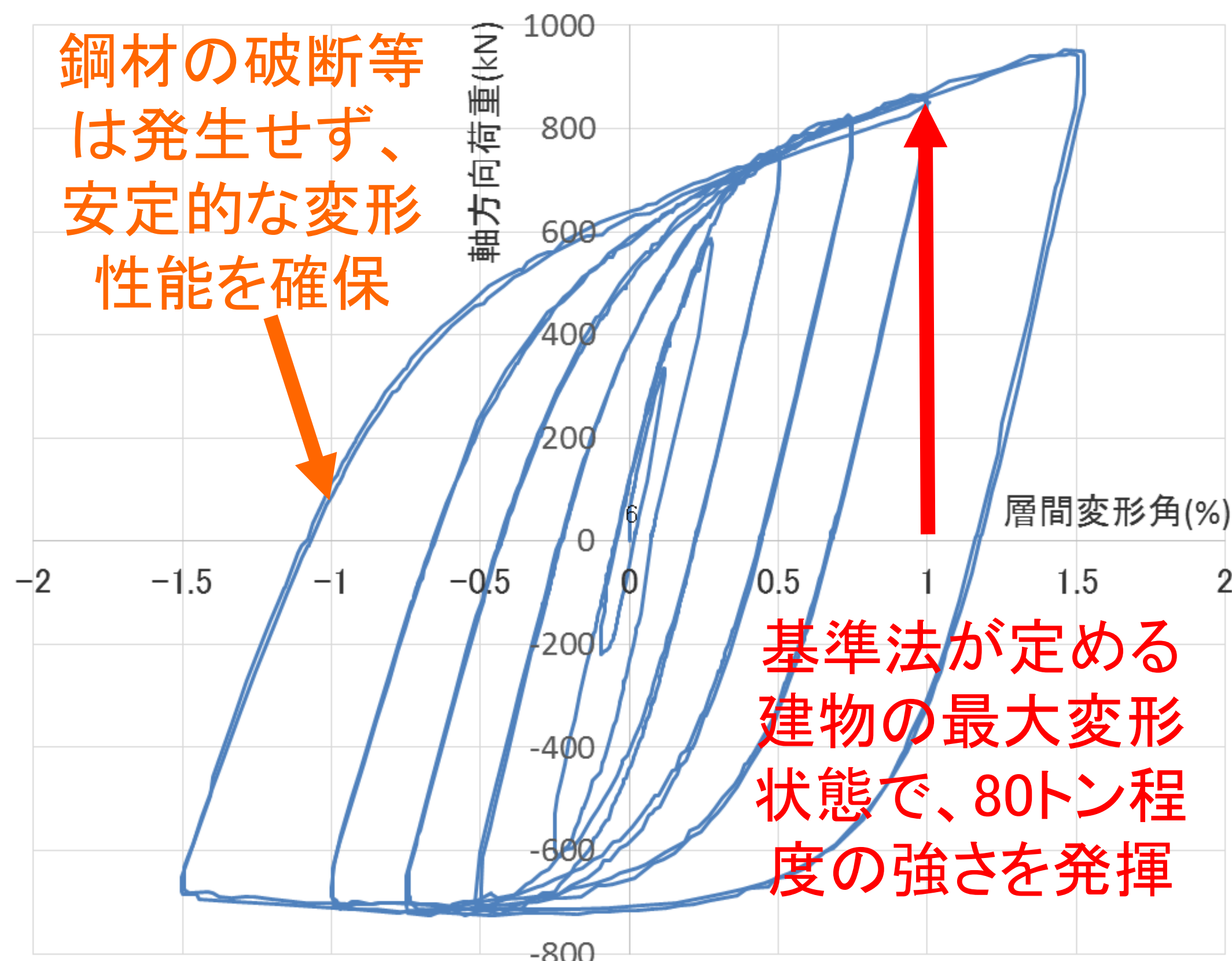
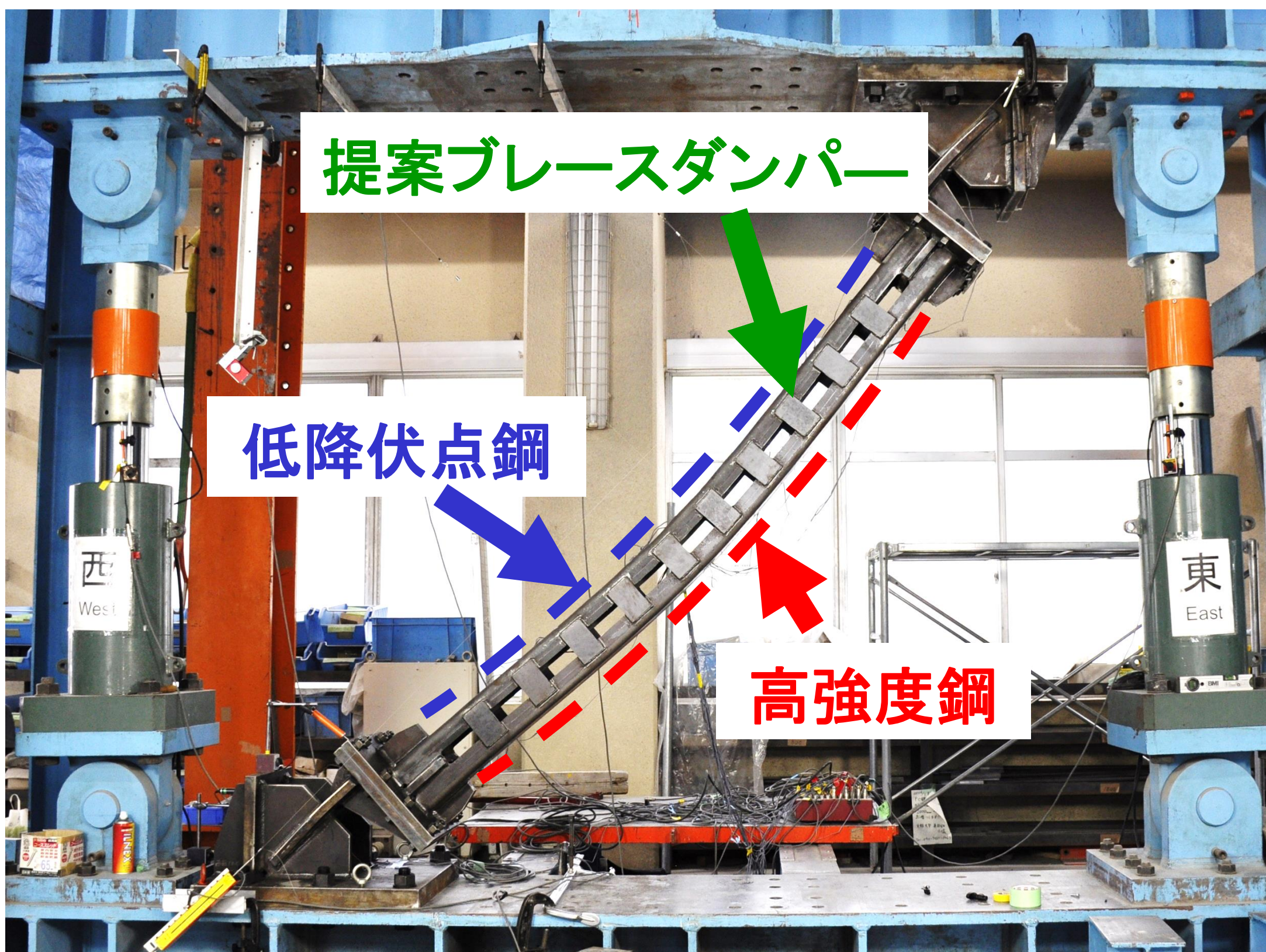
### Point

- 安価かつ施工が簡便な新型デバイス
- 革新的構造材料を利用
- 実大実験によって地震時の挙動を検証
- 従来製品と同等以上の耐震性能

## 研究段階：実証研究

高層ビル等に用いる新型のブレースダンパー(耐震デバイスの一種で、地震時の建物の揺れを大幅に軽減する)を提案し、その性能を構造実験によって実証しました。実物大の提案デバイスは、従来製品と比べ格段に簡便な構造であるにもかかわらず、ほぼ同等の強さ(1体あたり70~90トン)を有しており、地震下でも安定した変形挙動を示すことを確認しました。

豊橋技術科学大学では、数百トンの加力が可能な大型実験設備を保有しており、これを有効活用した産学協同研究を、多数展開しています。



問合せ先：豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター Tel：0532-44-6975 Fax：0532-44-6980 E-mail：tut-sangaku@office.tut.ac.jp

技術を究め、技術を創る

国立大学法人 豊橋技術科学大学